

第 4 委 員 会

【質問 1 「たくさんの観光客が訪れる大阪になるような取り組みについて」】



私たちは、たくさんの観光客が訪れる大阪になるような取り組みについて考えました。

まず、大阪ならではの体験ができるイベントをしてみてもどうでしょうか。例えば、たこ焼き作りや大阪弁漫才講座、大阪ならではの観光をするなどです。外国人観光客も、大阪の魅力を十分楽しめるようにしたいです。

次に、大阪の良さをアピールする方法について考えました。SNS、ユーチューブなど写真や動画などでアピールすると、より伝わりやすくなります。インスタ映え

するような場所や食べ物も紹介するとよいと思います。最後に、国際都市 O S A K A として、諸外国の方々が言葉の壁で困らないようにしたいです。例えば、通訳ボランティアを増やしたり、多言語ほん訳システムの表示板や誰が見ても分かりやすいように工夫された表示などもどんどん取り入れてほしいです。

大阪に来た人たちに、「大阪がすつきゃねん」と言ってもらい、また来たくなるような大阪にしていきたいです。私たちの提案について、市長の考えをお聞かせください。



【市長答弁要旨】

- 現在、大阪府と大阪市が一緒になって大阪観光局というのをつくり、世界中の皆さんに大阪を訪問して下さいという案内を行うなど、いろんな取り組みをすすめている。海外から大阪へのお客さんというのは非常に増えている。
- 海外の皆さんには、日本の文化、大阪の文化を体験したいと思っている方がたくさんいる。例えば大阪城の中でのチャンバラの体験、天神橋六丁目の「くらしの今昔館」では着物の着付け体験をして昔の町並みを歩くことができたり、道頓堀ではたこ焼きのテーマパークがあったりと、様々な体験ができる事業をやっている。非常に人気のある大阪の食についても、食文化の体験プログラムなども行っているところである。

- 大阪観光局でも英語、中国語、韓国語、様々な外国語を使って今の大阪の魅力をSNSで発信しているところである。今日の提案を受けてさらに拡大していきたいと思う。
- ボランティアの皆さんも大阪城公園で外国語による観光ガイドをしてくれている。また、海外の外国語を使った電光掲示板を道頓堀に昨年設置した。非常に好評で、いろんな外国の言語を電光掲示板で表示できるようにしている。デジタル掲示板での案内、観光案内所での案内など、多言語で対応できるような仕組みを今すすめているところである。子ども議員の皆さんから貴重な提言をいただいたので、さらにこの中身を深めていき、充実させていきたいと思う。
- 6年生の皆さんが入学してから、この6年間で7倍くらい海外からのお客さんが増えている。国際都市大阪、海外の皆さんからも人気のある大阪というのをつくりたいと思う。

【質問2「魅力的な「うめきた」地区の開発について】

私たちは、魅力的なうめきた地区の開発について考えました。

みんなが楽しく過ごせるうめきた地区にしようと話し合い、まとまったのが「大型の複合施設を作る」という提案です。

複合施設の中には、動物園と植物園が一緒になった施設、大阪の歴史が学べるスペース、日本古来の弓道や剣道、柔道などが体験できるスペースなどを設置します。また、まるで本当に日本の名所にいったような写真を撮れるミニチュアを展示し、「うめきたに行けば、日本全国に行ける！」と評判にすることで外国人観光客の方にも喜んでもらいたいです。



また、屋上を公園にして、自然豊かで人々のいこいの場となるようにします。冬には人工雪を降らし、子どもたちは雪遊びができます。また、自分の願いを書いたオリジナル凧を作り凧揚げ大会も開催します。

さらに、とても広い施設になると思うので、移動手段として、敷地内にトロッコやロープウェイを作り、近くの施設や公共交通機関ともつなげます。このような魅力的な施設を作り、イベントを実施することでうめきたがより魅力的で活発な所になるのではないかと考えます。

私たちの提案について、市長の考えをお聞かせください。

【市長答弁要旨】

- 「うめきた」は大阪市の中心部分で、多くの方が、うめきた、大阪駅、梅田エリアを利用し、仕事をされている。うめきたエリアというのは、大阪だけではなく、関西全体の成長にとっても重要な拠点だということである。
- ちょうど先月、第2期の開発事業者が決まり、「うめきた」に複合施設を作ることや魅力的にしていくということについて、まさに皆さんと一緒に思いになっている。
- 複合施設は、日本だけではなくて海外の方、つまり国内外のビジネスマンや、観光客が多く来場してもらえるような施設の内容になっている。買い物や、おいしいものを食べるレストランなどのお店や、働く場所となる会社、あるいは新しい技術を作り出すような場所や最先端の技術を体感できるスペース、それだけでなく、農作業の体験ができる屋上農園や農園カフェなども含まれる。
- 2024年にまず開発の完了を目指している。「うめきた」の真ん中は、大都市としての公園を整備する。本物の緑、自然豊かな森であったり、滝が流れる池であったり、そして皆さんからも提案があったが、雪遊びやたこあげ大会などのイベントもできる、1万人ぐらいが集まれる大きな芝生広場を作るとすることも予定している。そのうめきた地区全体に、デッキみたいなものを作って歩いて楽しめるというような取り組みを今すすめているところである。
- こういった提案に加えて、今日皆さんからお聞きしたアイデアについては、うめきた地区を開発する事業者にしつかりと伝えることを約束する。
- そして、「うめきた」を魅力あるエリアにしていきたいと思う。ぜひ、これからも注目してもらい、皆さんが大人になる頃には、すばらしい場所にしていきたいと思う。

